



平成22年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年10月26日

上場会社名 フューチャーアーキテクト株式会社
コード番号 4722 URL <http://www.future.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 安延 申

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員

(氏名) 中島 由彦

TEL 03-5740-5724

四半期報告書提出予定日 平成22年10月26日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第3四半期の連結業績(平成22年1月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第3四半期	16,588	△9.7	2,012	△3.1	2,098	△1.3	1,103	△4.7
21年12月期第3四半期	18,377	—	2,077	—	2,126	—	1,158	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年12月期第3四半期	2,416.67	—
21年12月期第3四半期	2,642.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年12月期第3四半期	12,931	10,127	78.3	22,178.26
21年12月期	12,557	9,841	77.9	21,422.20

(参考) 自己資本 22年12月期第3四半期 10,127百万円 21年12月期 9,782百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年12月期	—	0.00	—	1,600.00	1,600.00
22年12月期	—	0.00	—	—	—
22年12月期(予想)	—	—	—	1,200.00	1,200.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成22年12月期の連結業績予想(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,000	1.4	3,000	14.6	3,040	12.4	1,550	28.7	3,394.42

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	22年12月期3Q	476,640株	21年12月期	476,640株
② 期末自己株式数	22年12月期3Q	20,008株	21年12月期	20,008株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	22年12月期3Q	456,632株	21年12月期3Q	438,436株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記記載の業績予想数値は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確定な要素を含んでおります。なお、上記の予想の前提条件その他の関連する事項については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

添付資料の目次

1 . 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2 . その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3 . 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書（第3四半期連結累計期間）	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
4 . 補足情報	12
(1) 受注状況	12

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、内外での景気対策や新興国における需要回復等を背景に緩やかな回復の動きを示す一方、自律的回復力は弱く、厳しい雇用状況や円高、デフレ懸念等もあることから、依然として不透明な状況であります。

このような状況の中、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は16,588百万円（前年同期比9.7%減）、営業利益は2,012百万円（同3.1%減）、経常利益は2,098百万円（同1.3%減）、四半期純利益は1,103百万円（同4.7%減）となりました。

以上のように前年同期比では売上高、利益とも減少しておりますが、前年は上半期が好調だったのに対して、今期は下半期に業績が回復していく見通しです。実際に当四半期（本年7～9月）の数値を前年同期と比べると売上高は4.8%増、営業利益は122.5%増と業績は大きく改善しており、また、直前の四半期（本年4～6月）と比べても売上高9.1%増、営業利益54.5%増と著増しております。この推移は概ね会社計画どおりであり、この傾向は第4四半期も継続する見通しです。

事業の種類別セグメントの業績は、以下のとおりであります。なお、各業績数値は、セグメント間の内部売上高又は振替高を調整前の金額で記載しております。

ITコンサルティング事業は、新規顧客の獲得に成功する等、第2四半期時点で受注の回復が顕在化していましたが、当第3四半期はそれが順調に売上に繋がる一方、プロジェクトの拡大による稼働率の向上により、営業利益も増加しております。この結果、第3四半期3ヶ月の売上高は、3,531百万円（前年同期比4.7%増）、営業利益は851百万円（同49.4%増）となっておりますが、他方、上半期の落ち込みにより、第3四半期までの累計では売上高10,397百万円（前年同期比12.2%減）、営業利益1,995百万円（同8.2%減）となりました。

パッケージ&サービス事業は、株式会社アセンディアの受託開発ビジネスが引き続き堅調に推移し、株式会社エルムでも営業戦略の強化により業績は徐々に回復しています。しかし上半期の落ち込みを補うまでには至っておらず、売上高は3,140百万円（前年同期比5.1%減）、営業利益は28百万円（同36.7%減）となりました。

企業活性化・新事業開拓事業は、大部分を占める食品スーパー（株式会社魚栄商店）において、老朽化店舗の改装により競争力の強化やIT導入による販売戦略の合理化、業務改革によるコスト削減効果等は継続しておりますが、猛暑の影響による外出控えや一部生鮮商品の相場高もあり、当該事業全体の売上高はわずかに前年同期を下回る3,439百万円（前年同期比0.8%減）、営業損失は30百万円（前年同期は76百万円の損失）となっております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は12,931百万円となり、前連結会計年度末に比べ374百万円増加いたしました。その主な要因は、現金及び預金の増加（前連結会計年度末比+658百万円）、受取手形及び売掛金の増加（前連結会計年度末比+106百万円）等によるものであります。

また、負債は2,803百万円となり、前連結会計年度末に比べ88百万円増加いたしました。その主な要因は、未払法人税等の増加（前連結会計年度末比+34百万円）、賞与引当金の増加（前連結会計年度末比+26百万円）等によるものであります。

なお、純資産は10,127百万円となり、前連結会計年度末に比べ285百万円増加いたしました。その主な要因は、利益剰余金の増加（前連結会計年度末比+372百万円）等によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の増加 99百万円や法人税等の支払 758百万円がありましたが、税金等調整前四半期純利益を1,952百万円計上したこと等により、1,369百万円の収入（前年同期比145.9%増）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の払戻による収入200百万円や敷金及び保証金の回収による収入195百万円等により、222百万円の収入（前年同期は999百万円の支出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払 728百万円等により、760百万円の支出（前年同期は128百万円の収入）となりました。

これら営業活動、投資活動、財務活動等の結果、当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、4,413百万円となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

為替の高騰が続くなど日本経済の足取りは、今一步定まらず、経済環境は回復の見通しも出てきておりますが、特にIT投資に関しても、先行きの不透明感がぬぐえない状況が続いております。こうした中で、当社グループにおいては、第3四半期累計では前年同期比で売上高、利益とも減少する結果となりましたが、この第3四半期（7～9月）では、新規顧客向けプロジェクトが拡大し、受注が順調に売上に繋がっていること等、業績は顕著に上向き、概ね会社計画どおりに推移していることから、平成22年12月期の通期業績予想については、前回発表（平成22年7月29日付）の業績予想からの変更はありません。

2. その他の情報

（1）重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

（2）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1. 簡便な会計処理

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

2. 特有の会計処理

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

（3）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

（工事契約に関する会計基準）

第1四半期連結会計期間より「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号 平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日）を適用しております。

なお、これによる当第3四半期連結会計期間への影響はありません。

（企業結合に関する会計基準等）

当第3四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）、「研究開発費等に係る会計基準」の一部改正（企業会計基準第23号 平成20年12月26日）、「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成20年12月26日）、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年12月26日公表分）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,443,793	3,785,549
受取手形及び売掛金	2,407,410	2,301,382
商品及び製品	125,454	133,162
仕掛品	48,459	38,529
未収入金	1,353,063	1,374,764
その他	676,026	516,505
貸倒引当金	20,851	9,302
流動資産合計	9,033,357	8,140,590
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,782,837	2,779,272
減価償却累計額	2,343,823	2,339,229
建物及び構築物（純額）	439,014	440,043
土地	127,762	172,662
その他	1,475,045	1,446,479
減価償却累計額	1,215,767	1,174,914
その他（純額）	259,277	271,565
有形固定資産合計	826,054	884,271
無形固定資産		
ソフトウェア	408,026	439,805
その他	40,832	94,016
無形固定資産合計	448,858	533,821
投資その他の資産		
投資有価証券	1,766,459	1,883,250
その他	912,463	1,214,122
貸倒引当金	55,907	98,813
投資その他の資産合計	2,623,015	2,998,559
固定資産合計	3,897,928	4,416,652
資産合計	12,931,285	12,557,243

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	556,892	591,498
短期借入金	30,000	30,000
1年内返済予定の長期借入金	32,000	32,000
未払法人税等	399,585	365,079
賞与引当金	88,172	61,182
品質保証引当金	99,243	74,301
プロジェクト損失引当金	8,500	-
その他	1,348,698	1,295,848
流動負債合計	2,563,091	2,449,910
固定負債		
長期借入金	16,000	48,000
退職給付引当金	117,367	102,027
負ののれん	65,745	102,228
その他	41,775	13,378
固定負債合計	240,888	265,634
負債合計	2,803,980	2,715,544
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,421,815	1,421,815
資本剰余金	2,495,772	2,495,772
利益剰余金	7,348,265	6,975,347
自己株式	1,171,668	1,171,668
株主資本合計	10,094,184	9,721,266
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	35,103	62,355
為替換算調整勘定	1,982	1,558
評価・換算差額等合計	33,120	60,797
少数株主持分	-	59,634
純資産合計	10,127,305	9,841,698
負債純資産合計	12,931,285	12,557,243

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)
売上高	18,377,068	16,588,602
売上原価	11,843,038	10,040,687
売上総利益	6,534,030	6,547,915
販売費及び一般管理費		
役員報酬	279,682	217,084
給料及び賞与	2,160,754	2,405,183
研修費	187,489	107,005
研究開発費	33,604	61,313
減価償却費	149,906	86,630
採用費	47,573	40,544
のれん償却額	104,519	6,040
その他	1,493,098	1,611,448
販売費及び一般管理費合計	4,456,627	4,535,250
営業利益	2,077,402	2,012,664
営業外収益		
受取利息	5,718	2,452
受取配当金	6,847	16,455
負ののれん償却額	42,598	55,643
その他	34,693	32,180
営業外収益合計	89,858	106,731
営業外費用		
支払利息	8,732	3,109
持分法による投資損失	24,853	11,828
その他	7,307	6,349
営業外費用合計	40,892	21,287
経常利益	2,126,367	2,098,108

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)
特別利益		
投資有価証券売却益	58,233	1,127
固定資産売却益	-	6,245
特別利益合計	58,233	7,372
特別損失		
前期損益修正損	-	72,401
固定資産売却損	6,048	-
固定資産除却損	1,191	4,708
投資有価証券評価損	19,220	46,104
減損損失	31,927	-
訴訟関連費用	-	30,000
特別損失合計	58,387	153,214
税金等調整前四半期純利益	2,126,214	1,952,266
法人税等	966,069	850,100
少数株主利益又は少数株主損失()	1,672	1,363
四半期純利益	1,158,472	1,103,529

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,126,214	1,952,266
減価償却費	402,767	186,227
減損損失	31,927	-
貸倒引当金の増減額(は減少)	40,408	1,506
賞与引当金の増減額(は減少)	1,291	26,990
品質保証引当金の増減額(は減少)	59,974	24,942
プロジェクト損失引当金の増減額(は減少)	-	8,500
退職給付引当金の増減額(は減少)	30,584	15,340
受取利息及び受取配当金	12,566	18,907
支払利息	8,732	3,109
持分法による投資損益(は益)	24,853	11,828
固定資産売却損益(は益)	6,048	6,245
固定資産除却損	1,191	4,708
投資有価証券売却損益(は益)	58,233	1,127
投資有価証券評価損益(は益)	19,220	46,104
訴訟関連費用	-	30,000
前期損益修正損益(は益)	-	72,401
売上債権の増減額(は増加)	305,509	99,703
たな卸資産の増減額(は増加)	72,673	2,221
仕入債務の増減額(は減少)	501,137	34,606
その他	188,244	76,424
小計	2,106,695	2,141,676
利息及び配当金の受取額	11,997	19,282
利息の支払額	10,937	3,498
法人税等の支払額	1,551,000	758,360
訴訟関連費用の支払額	-	30,000
営業活動によるキャッシュ・フロー	556,754	1,369,100

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	65,323	30,000
定期預金の払戻による収入	107,812	200,000
有形固定資産の取得による支出	132,002	132,425
有形固定資産の売却による収入	3,780	51,269
無形固定資産の取得による支出	152,539	11,908
投資有価証券の取得による支出	795,000	-
投資有価証券の売却による収入	72,016	6,335
投資有価証券の償還による収入	-	4,300
子会社株式の取得による支出	5,600	45,151
関係会社株式の取得による支出	-	5,000
敷金及び保証金の差入による支出	108,378	11,909
敷金及び保証金の回収による収入	75,017	195,985
貸付金の回収による収入	315	-
その他	-	1,110
投資活動によるキャッシュ・フロー	999,900	222,605
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	398,000	-
長期借入金の返済による支出	259,466	32,000
自己株式の取得による支出	90,845	-
自己株式の売却による収入	781,000	-
配当金の支払額	698,468	728,710
少数株主への配当金の支払額	1,252	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	128,966	760,710
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,053	2,751
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	306,125	828,244
現金及び現金同等物の期首残高	2,612,962	3,585,549
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,306,836	4,413,793

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年9月30日)

	ITコンサルティング事業 (千円)	パッケージ& サービス事業 (千円)	企業活性化・ 新事業開拓事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高及び営業損益						
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	11,843,150	3,104,470	3,429,447	18,377,068	-	18,377,068
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,800	204,709	38,097	244,607	244,607	-
計	11,844,950	3,309,180	3,467,545	18,621,676	244,607	18,377,068
営業費用	9,672,243	3,263,910	3,544,032	16,480,186	180,519	16,299,666
営業利益又は営業損失 ()	2,172,707	45,269	76,486	2,141,490	64,088	2,077,402
資産、減価償却費、減損 損失及び資本的支出						
資産	8,110,404	1,509,612	929,628	10,549,645	3,040,880	13,590,526
減価償却費	288,214	68,958	43,922	401,095	1,671	402,767
減損損失	-	-	31,927	31,927	-	31,927
資本的支出	183,462	26,133	74,946	284,541	-	284,541

当第3四半期連結累計期間(自平成22年1月1日至平成22年9月30日)

	ITコンサルティング事業 (千円)	パッケージ& サービス事業 (千円)	企業活性化・ 新事業開拓事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高及び営業損益						
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	10,373,981	2,797,593	3,416,697	16,588,272	330	16,588,602
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	23,269	343,302	22,730	389,302	389,302	-
計	10,397,250	3,140,895	3,439,428	16,977,574	388,971	16,588,602
営業費用	8,401,806	3,112,227	3,470,258	14,984,292	408,354	14,575,938
営業利益又は営業損失 ()	1,995,443	28,668	30,830	1,993,281	19,382	2,012,664
資産、減価償却費、減損 損失及び資本的支出						
資産	7,941,798	1,797,441	739,607	10,478,847	2,452,437	12,931,285
減価償却費	116,038	36,560	31,957	184,555	1,671	186,227
減損損失	-	-	41,549	41,549	-	41,549
資本的支出	75,851	28,307	40,175	144,333	-	144,333

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分は、事業の内容によっております。

2. 各区分に属する主要な製品

事業区分	事業内容
ITコンサルティング事業	顧客の抱える経営上の問題を経営者の視点で共有し、顧客のビジネスを本質から理解したうえで、実践的な高い技術力により先進ITを駆使した情報システムを構築することで、問題を解決していく事業
パッケージ&サービス事業	販売管理、ERPなど、専門性の高い領域へ特化した業務パッケージソフトを販売またはASPを利用しての提供、あるいは基幹システムの受託開発を行うことにより、顧客の業務効率改善を図る事業
企業活性化・新事業開拓事業	対象企業の経営に深く参画し、ITを含めた短期かつ、抜本的な改革により企業の活性化を実現したうえで、各業態ごとに成功モデルを構築する事業 また、当社グループにない事業を営む企業との提携、新進企業の創設や出資等を通して、当社の経営、業務、IT全般にわたるノウハウ・技術力を活用・融合することで対象企業の価値を最大化し、あるいはその成長を加速することで当該業界の発展に寄与していく事業

3. 資産のうち、消去又は全社の項目に含めた全社資産の金額は、前第3四半期連結累計期間が4,757,651千円、当第3四半期連結累計期間が3,226,888千円であり、その主なものは、余資運用資金（現金及び有価証券）及び管理部門に係る資産等であります。
4. 当第3四半期連結累計期間の減損損失41,549千円は、過年度の減損損失計上額の修正であり、前期損益修正損に含めて表示しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自平成21年1月1日至平成21年9月30日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間（自平成22年1月1日至平成22年9月30日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自平成21年1月1日至平成21年9月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間（自平成22年1月1日至平成22年9月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 受注の状況

(単位：千円)

区分	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高
ITコンサルティング事業	10,743,189	4,168,702	12,659,438	5,416,504
パッケージ&サービス事業	2,644,916	644,434	3,028,133	828,993
企業活性化・新事業開拓事業	18,981	2,217	38,505	6,034
合計	13,407,086	4,815,353	15,726,078	6,251,532